

5. 分科会プログラム

12月5日(火) 14:45~15:45 会場：名古屋商工会議所 会議室

分科会は、下記の通り4テーマで行います。分科会2~4については実践報告があります。

分科会1「初心者分科会」 座長：長谷川 好世(白井市文化センター・プラネタリウム)

プラネタリウムに携わっている経験年数5年未満の皆さんの分科会です。プラネタリウムに意気揚々と就職した、または、青天の霹靂！異動してしまった、等々いろいろな経緯で関わるようになってから湧いてきたいろいろな疑問、立ちふさがり壁？参加者と情報交換しつつ、明日使える技を磨きましょう。

分科会2「機器のリニューアル」 座長：嘉数 次人(大阪市立科学館)

なぜリニューアルするのか？何がよいのか。効果を最大に発揮するには？予算は？どうPRすべきか？目的をかなえるポイントはどこか？世の中の要請にこたえるにはどうするのか？リニューアル終了者、これから行う者、構想する者、それぞれの立場からよりよいリニューアルを考えましょう。

鷹 宏道(平塚市博物館)	スライドからデジタル映像へ - HDとオールドームシステム導入の試み -
--------------	--------------------------------------

分科会3「指定管理者制度下におけるプラネタリウムの運営」

座長：糸賀 富美男(さいたま市宇宙劇場)

指定管理者制度が導入された結果、それまで気づけなかった経営面、運営面での様々な課題が明らかになってきたのではないのでしょうか。本分科会では、そうした課題の解決を目指し、議論や情報交換を行っていききたいと思います。

加藤 治(宗像ユリックスプラネタリウム)	「指定管理者協働パートナーシップ協定」について
----------------------	-------------------------

分科会4「番組ソフト制作」 座長：土川 啓(石川県柳田星の観察館「満天星」)

近年、機材のデジタル化により、プラネタリウムのソフト制作手法が大きく変わってきました。この変化により、今まで表現できなかったことも可能になってきています。しかし、一番大切なのは、内容そのものであるということには変わりはありません。ここでは、新しい手法を取り入れたプログラム(番組・イベント)作りの事例発表を受けて、良質なプログラム作りについて考えます。

高橋真理子(山梨県立科学館)	プラネタリウム番組「戦場に輝くベガ」~星と人と異分野をつなぐ
渡辺真由子 (福島市子どもを育む施設こむこむ)	デジタル館における学習投影の取り組みについて
吉田 栄(盛岡市子ども科学館)	バーチャリウムを活用した投影紹介

各分科会で発表される実践報告内容

分科会 2

鷹 宏道(平塚市博物館)	スライドからデジタル映像へ - HD とオールドームシステム導入の試み -
---------------------	--

今年度、リース契約で使用してきた映像音響機材の一部更新を行いました。オールスカイ、マルチ、大画角などコダックのスライドプロジェクタで組んだシステムをデジタル機材で置き換えました。その際、大画角は、フルハイビジョンを大画角で投射できる機材に、オールドームは5台で全天をカバーし、ステラナビゲーターの全天版が使えるシステムを入れました。システム更新のねらいと概要を報告します。

分科会 3

加藤 治(宗像ユリックスプラネタリウム)	「指定管理者協働パートナーシップ協定」について
-----------------------------	--------------------------------

宗像市総合公園(宗像ユリックス)は、2006年4月から(財)宗像市総合公園管理公社が指定管理者となりましたが、その運営に際し、財団と有限会社エイコーウェル(アクアドーム運営)そしてNPO法人エム・ワイ・ピー(プラネタリウム運営)の3社で協働で実施することになりました。協働事例でも珍しい事例と言うことで全国的にも注目されています。今回の発表では、この協定を結ぶまでの活動を中心に、その歩みについてご報告します。

分科会 4

高橋真理子(山梨県立科学館)	プラネタリウム番組「戦場に輝くベガ」～星と人と異分野をつなぐ
-----------------------	---------------------------------------

山梨県立科学館において制作・投影したプラネタリウム番組「戦場に輝くベガ～約束の星を見上げて」は、各方面から多くの反響がありました。戦争・当時使われた天文航法を横軸に、星の持つ(人は何故星を見上げるのだろうか、との問いに対する回答の一つ)をたて軸に編まれた番組の制作コンセプトとその反響について報告します。

渡辺真由子 (福島市子どもの夢を育む施設こむこむ)	デジタル館における学習投影の取り組みについて
--------------------------------------	-------------------------------

全天周デジタル映像投影システムを備える施設が増えています。こむこむプラネタリウムでの実践を通じて多彩な表現力をもつシステムを活かした投影の可能性、子どもたちの学習において得られる効果を探るとともに、問題点を明らかにしていきたいと思えます。

吉田 栄(盛岡市子ども科学館)	バーチャリウムを活用した投影紹介
------------------------	-------------------------

バーチャリウムの活用法を当館で自作した番組を通して紹介します。